

令和4年度

第3回公民館運営審議会議事録

令和4年12月16日開催

令和5年1月13日承認

## 令和4年度 第3回公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和4年12月16日（金） 午後2時～3時30分
- 2 開催場所 高洲公民館 大集会室
- 3 出席者  
(委員)  
勝田委員長、田中副委員長、柗委員、岡本委員、大川委員、谷口委員、渡邊委員、梅本委員、阿部委員、松浦委員、林委員  
(事務局)  
高洲公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、高洲公民館職員2名
- 4 傍聴人 なし
- 5 次 第
  - I 開会
    1. 委員長あいさつ
  - II 議 題
    1. 報告事項
      - (1) 公民館主催事業（4月～9月）実施状況について
    2. 審議事項
      - (1) 公民館主催事業（1月～3月）開催計画について
  - III その他
    - (1) 次回の公民館運営審議会について
- 6 協議概要及び会議経過
  1. 報告事項
    - (1) 公民館主催事業（4月～9月）実施状況について  
上半期（4月～9月）に実施した主催事業について、質疑応答を行った。  
委員からの主な意見・質問などは、以下のとおり。

(委員) 中央公民館のヤンゴンかるたであるが、3月にミャンマーに住んでいた学生がお話になったと記憶している。そういう体験談を話してくださるの

はありがたいと思った。また、ファーストリテイリングでは、ミャンマーから逃れてきた信者の方を信愛するという言葉が心に残っている。この事業が学校連携事業となっているが、以前にヤンゴンからたのプロジェクトの講座に行ったときは、学校連携事業ではなかったと思うが、どのようなことをすると学校連携事業につながるのか教えていただきたい。

(事務局) こういったことをやらないと学校連携事業にならないというものではないが、基本的には学校と企画等を共有しながら、児童生徒に対する公民館事業の趣旨を踏まえ、児童生徒に関わる事業として考えている。

(委員) 児童生徒が、公民館により主体的に関わっていくという意味でよろしいか。

(事務局) 学校連携なので、学校や公民館が目的を共有しながら、児童生徒の糧となることを目的としている。

(委員) 各公民館で開催している家庭教育学級について、参加人数を見ると少なく残念に感じている。以前に私自身家庭教育学級に参加し、得た知識はとて有意義なものだったので、時代なのか、魅力的に感じないのかわからないが、募集にあたり作戦をかえるなどして、今後家庭教育学級を守り、続けていただきたいと思っている。

(事務局) 令和4年度は少し形を変え、4～6月が学級生の募集で、主催事業のお知らせやホームページ等を通じて募集を行った。7～8月に全体課題の抽出のため、事前アンケートや結果集計、また基調講演のテーマを決定し、9月にオリエンテーションを行った。今回は上半期9月までの報告なので、参加人数が少なくなっている。

10月以降は講義や、2月には家庭教育講演会などを実施する予定となっている。

(委員) 高洲公民館の「忙しくてもスッキリ！らくらく片づけ講座」に関心がある。高齢化が進んでいる中で、片づけの問題は切実に感じている。各公民館でぜひ実施していただきたいという希望です。よろしくお願いします。

(事務局) 片づけに関しては、高齢者向けの講座で来月コミュニティカレッジを行う予定である。全公民館共通の事業として、すでに募集は終わっているが、11月から始め、月1回ペース、全4回行う。3回目の1月は、「生前整理」として片づけをテーマに講座を行います。

(委員) ぜひ来年度もよろしくお願いします。

(委員) 県民の日や夏休みの企画に注目している。いろいろな企画がされているので、浦安は子どもたちにやさしく、いいなと感じている。

富岡公民館の夏休みの企画「裂き織コースターを作ろう」「オリジナルキーフックを作ろう」「紙すきでうちわを作ろう」は参加人数が多く好評だったことがわかる。しかし、県民の日「初心者のための楽しい囲碁教室」であるが、たくさんの地域の方が囲碁をされて、講座に協力いただくとい

うことで、地域の交流もあり、よい企画であると思うが、子どもが集まらず、悲しかったのではないかと思う

地域の方に教わるという企画に対して、公民館で工夫されていることや苦心されていることについて、教えていただきたい。

(事務局) 委員がおっしゃるとおり、悲しかったのが実感である。職員間で話し合ったとき、火曜日に囲碁の広場を行っているが、昼間はなかなか子どもが集まらないので、水曜日の浦教研の日や、土曜日に実施する方向で考えている。そうすれば親子で来る人もいるのではないかと期待している。

(委員) 堀江公民館の「親子サークルどんぐりクラブ体験」「布絵本ボランティア」体験会であるが、参加人数の少なさが際立ってしまっている感じがする。表の見方として、回数×定員が、参加人数の上限という見方でよろしいか。

(事務局) おっしゃるとおりである。

(委員) 定員 20 名の事業を 4 回行って、参加者数 2 名はさみしいのではないか。中止も含め、参加者が少ない事業はどういう広報をされたのか、おうかがいしたい。

富岡公民館の県民の日事業についても、あわせておうかがいします。

(事務局) 布の絵本ボランティア体験会であるが、定期的な活動として 1 階ロビーで展示を行い、その体験として参加者の呼びかけを行ったが、なかなか現実的には参加者が集まらなかったという状況であった。

(事務局) 県民の日の囲碁教室について、中止ではなかったが、1 名しか集まらなかった。募集にあたっては校長会にもお願いして、学校のホームページや、できれば紙ベースではなく、電子データでのやりとりをしたが、効果が出なかった事業もあったので、興味関心を惹く講座を企画する必要性を感じた。

(事務局) 県民の日の親子事業として、「グランドゴルフをやってみよう」を子どもたちに楽しさを伝えることを目的に計画した。サークル「グランドゴルフクラブ」に協力いただき、親子で 16 組募集したが、3 組しか集まらなかったため、申込者には申し訳なかったが、中止の連絡をした。また、美浜児童育成クラブにも声かけをしたが、参加者が集まらなかった。

(事務局) 当代島公民館では、県民の日の事業として「親子でフットサル！」を企画したが、参加者が集まらなかったため、締切直前に近くの保育園や幼稚園にチラシを配布した。結局中止としたが、職員間で話し合い、対象年齢を考えた時にフットサルをするというよりは、ボール遊びでもよかったかもしれないと思った。体育館開放の一環として遊ばせてもよいかもしいと思った。もう少し検討し、次につなげたい。

## 2. 審議事項

### (1) 令和4年度公民館主催事業（1月～3月）開催計画について

1月から3月に開催を計画している主催事業について、各館長より説明を行った。委員からの主な意見・質問などは、以下のとおり。

- (委員) 高洲公民館の「心と体をほぐすYOGAリラクゼーション」について、男女共同参画事業として行うこととなっているが、対象が女性だけということで、なぜ男性がだめなのか、おうかがいしたい。
- (事務局) 今回の事業については、女性を取り巻く社会参画の視点から、ライフステージに応じた体の変化を考え、普段の生活に取り入れやすいヨガを、運動不足の解消と健康な日常生活を送るための運動習慣の大切さを学ぶため、この事業を企画したものである。
- (委員) ライフステージにおける体の変化について、男性が全くないかというところというわけではないと思う。また、運動不足の解消と健康な日常生活を送るための運動習慣の大切さを学ぶことは男性にも関係するし、育休取得の男性も増えてきていると思われる。男女共同参画という言葉がすっかりこなかったのと、社会も変わってきているので、今後考えていただいてもよいと思う。
- (事務局) 多様な社会の変化に対応できるよう、また今回の講座の結果も踏まえ、いろいろ検討していきたい。
- (委員) 富岡公民館の「子ども向けアンガーマネジメント」であるが、自分の怒りの感情のコントロールと聞くと、すばらしく感じる。5歳の幼児に対して、そのようなことをしてもいいのかと疑問に思うところがある。対象がもう少し上ならよいと思うが、5歳児に対して、今からコントロールしてもいいものなのか疑問である。
- (事務局) この講座に参加する保護者であるが、家庭教育学級の参加者の方から5歳以上の保護者を対象にという話が出てきて、さらにもっと対象者を広げてよいのではないかという話が出され、ここに至っている。5歳児を持つ保護者の悩みとして、子どもが自分の怒りから人へ手を出してしまう、危害を加えてしまうという懸念から、講師に相談したところ、その年齢ごとにアンガーマネジメントを指導できるという助言をいただき、今回の講座につながっている。
- (委員) 今回も個人的にも興味のある講座を企画していただき、あれもこれも参加したいと思っている。今、テレビで「サイレント」というドラマがあるが、手話を扱っており興味がある。なかなか講座に行ったり、習ったりするという機会が少ない。今回富岡公民館で「子ども手話教室」を企画されているが、大人だけの参加は可能なのか。
- (事務局) 今回の講座では、子どもたちに手話だけを教えるのではなく、社会の中

でいろいろな人たちが生きているということも感じてほしいということを目的としている。大人のみ参加は、今後考えていきたい。

(委員) いろいろな講座の参加要件として、市内在住・在学・在勤とあるが、例えば親戚の方や他市の知り合いの人も参加できるのか、おうかがいしたい。

(事務局) 原則として「市内在住・在学・在勤」と限定している。

(委員) 当代島公民館の「今の私が好きになる！自分らしいお片付け」であるが、片づけと断捨離では趣旨が違うのではと感じてしまう。片づけなのかと思い、参加したらお掃除の話だったでは、がっかりしてしまう参加者もいるのではないかと思われる。

(事務局) 委員のご指摘のとおりである。今回の講座では、無駄な清掃グッズを買い揃えたり、無駄な掃除の仕方などを省いたりするという観点から、簡単に掃除ができるように荷物を増やさないようにしようということで企画したものである。名称のキャッチフレーズについては反省点として、今後検討していきたい。

(委員) 「スマホ講座」で学ぶ写真の上手な撮り方の講座であるが、富岡公民館では60歳以上の方が対象なので、機種がある程度限定されると思う。一方堀江公民館のスマホ講座では、18歳以上を対象としており、参加する人の年齢幅があれば、撮影する目的も風景なのか子どもなのかなど異なってくるので、もう少し詳しく書かないと、参加する方が、目的が違ってしまうのではないかと思う。

(事務局) 今回の講師については、つなぐプロジェクトの中でプロカメラマンの方を紹介いただいた。経験豊富な方であり、年齢層に合わせて説明できると聞き、お願いしたものである。今回ポスターを作成し、風景と赤ちゃんをのせており、ターゲットの幅は広くなると思っている。とりあえず、定員の10名集まることを期待している。

(委員) どのような方にも対応できるということで、楽しみである。

(委員) 保育ありの講座が増えた感じがする。ありがとうございます。今回ルネサンスが発行されるということで安心しているところであるが、子育て中のお母さんは、なかなか公民館に行くことができない方もいると思う。保育ありの講座については、情報提供のために「My うらやす」などにも載せてPRいただきたい。

(事務局) ルネサンスについては、各公民館窓口や市役所をはじめ、行政機関である行政サービスセンターや各幼稚園・小学校などにお知らせしたいと思う。またネット環境の中で、多くの人が検索できるよう、Twitterなどにも情報提供を考えていきたい。

(委員) 健康センターでも、親子で行かれる人が多いので、チラシを1枚置いていただくだけで、写真を撮ったりすることで、お母さん同士で情報を広げていくということも考えられるので、ご検討いただきたい。

- (事務局) 健康センターにも設置する方向で考えている。
- (委員) 以前に自治会で掲示板があるので、部数を準備いただければ、掲示いただくように協力をお願いしたいと考えている。発行部数的に問題はないか。
- (事務局) 今回2,000部の予算しかなく、各公民館窓口や行政機関、保育園、幼稚園、小中学校に配布すると、ほぼ2,000部が捌けてしまうので、もう少し検討させていただきたい。
- (委員) 今回の議題と関係ないかもしれないが、参加者が事故なく講座に参加いただくためには、施設の安全点検が大事であると感じている。  
施設の安全点検を定期的に行っているのか、おうかがいしたい。
- (事務局) 施設の点検については、毎月、職員が目視による点検を行っている。経年劣化による破損は発見しにくいところもあるので、耐用年数等を考えながら、部品等の交換を行っていくなどの対応をしていきたい。
- (委員) スポーツ推進委員で公民館の体育館を使わせていただき、倉庫の棚などを借りているが、他の団体が使ってしまった形跡があり、元の場所に戻していただければ問題はないのですが、そのことで怪我人が出た場合、私たちの責任になってしまうのではという危惧がある。
- (事務局) 団体の持ち物については、原則持ってきて持ち帰りを基本としている。毎回の持ち帰りが難しいものについては、棚を貸し出しているが、団体の持ち物についての責任は負いかねますというのが現状である。
- (委員) 中央公民館と日の出公民館におうかがいしたい。明海大学の「Jazz Live」が戻ってきてうれしく思う。コロナ以前は学園祭に公民館サークルの人たちが出演したり、公民館文化祭に明海大学の学生たちが手伝ってくれたり、交流があったと思う。中央公民館は了徳寺大学と交流があると思われる。今後、交流が始まる兆しがあるのか、おうかがいしたい。  
市内に大学があるのはよいことだと思うので、大学が蓄えている知識を浦安市民が享受することができるので、コロナ以前のように復活したらよいと思う。
- (事務局) 公民館全体としては、文化祭の代替事業として、展示会等を実施しているが、社会が動いていく中で規制が緩和されていることが見受けられるので、5年度文化祭をどうするかということについては、今後考えていきたいと思う。このコロナ禍でこれまで協力いただいていた団体や大学との関係を元に戻していくために、今後の課題として検討していきたい。
- (委員) 中央公民館の今月の行事の中で、明海大学との腰痛に関する事業があったが、中止となったのがっかりした。いかなる理由で中止になったのか、おうかがいしたい。
- (事務局) 12月7日(水)了徳寺大学の先生を講師に「骨粗しょう症予防セミナー」を開催する予定でしたが、講師が体調不良により講座の開催が難しく、1月13日(金)に延期となりました。

(委 員) 公民館主催事業の参加者の中には、継続して活動したいという人がいるという話をうかがったことがある。公民館では多くの団体が活動し、会員を募集している団体があるが、例えば陶芸のように初心者にはなかなかできない技術があると思われるが、入会にあたっての条件があるものなのか、おうかがいしたい。

(事務局) 各団体・サークルごとに入会の条件は異なると思われるので、基本、入会にあたっての条件は、団体の判断によるものと認識している。

## 2. その他

### (1) 次回の公民館運営審議会について

3月10日（金）午後2時から高洲公民館大集会室において開催を予定している。

以上で令和4年度 第3回浦安市公民館運営審議会は閉会した。